ガラー・アレームが詩新よろしいので、その初めに、
さっそく備えました。障子ばらけの部屋に、
この寒さで、石油ストーブの勢力ではとても追つ
つかないので、間音てて又、煙突を取りつけて、
石山炭ストーブをガンガンおこして、そのストーブの
番人をつとめ居る次第です。近くへ越してきた
新聞社づとめの友人が、あまり寒いので気の毒がって
話をかけましたところ、（新聞記者というものは、すぐ●
電話をかけるくせがある様です）われらが住む辺り
（郡下柏江町）は郡山より五度寒いと覚悟されたい
ということだつたそうです。いやはや、さはやりきれるせぬ。

私は旅行好きの方ですが、どこへ旅行するよりも、それ故郷の
神戸を語れて、変り映に近い旅館おどり歌を聞えたと
き、いつもの旅をしているという気分にならるのは、どう
いいわけでしょうか。そこへは、■われわれお友人の
ほか、教えぶそいはなく、女給さんくべき家のするわけ
でもなく、街のすがらもどの全く影響しまえている
ので、代の土地よりも郡でしよりにエトランゼの気分
がこころに沸騰となるの■でしょうか。故の面白しく
思いまもまた。神戸にまつわります。
ちゃん、自分とこわして設品してみりなるすので、七月
中旬まで、（電話）○四四一九一五一八○、伊藤方を
仮住場として御使しなす。但し事情変更は従前通りご依頼です。

関西へ上京しておりましたため、
おるすの間あく れてしまいました。
御手紙とあり、これからの私にとって
は百万円の価値があります。
治聖の御健勝を祈り上げます
六月十五
土月山 克二